

予算特別委員会資料

平成 2 5 年度

一般会計当初予算（案）施策の概要

【政策推進室】

2款 総務費

科目	主要な施策	施策の内容
1項 総務管理費		
1目 一般管理費	○総務事務経費 (政策推進課) 374千円 【財源内訳】 ・一般財源 374千円	(説明書 P47) 市有地等の利活用政策の推進等に係る事務経費。
6目 企画費	○企画推進経費 (政策推進課 ・安全安心まちづくり課) 1,865千円 【財源内訳】 ・諸収入 6千円 ・一般財源 1,859千円	(説明書 P55) 立命館大学、龍谷大学、京都学園大学との連携による「亀岡カーボンマイナスプロジェクト」や、その他市政の重要施策の調査・研究等を行い、本市の更なる発展とより良いまちづくりを目指す。 <主な経費> ・亀岡カーボンマイナスプロジェクト研究委託料 1,500千円
	○セーフコミュニティ推進事業経費 (安全安心まちづくり課) 6,034千円 【財源内訳】 ・府支出金 2,900千円 ・諸収入 30千円 ・一般財源 3,104千円	(説明書 P57) 「安全・安心は最大の福祉である」との理念のもと、市民との協働によるセーフコミュニティ活動を通じて、事故やけがなどの外傷予防対策や安全向上対策を継続的に図っていくことで、子どもから高齢者まで誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりを進める。 <主な経費> ・セーフコミュニティ推進事業経費 6,034千円 (府概ね1/2)
12目 諸費	○防犯等対策経費 (安全安心まちづくり課) 1,501千円 【財源内訳】 ・一般財源 1,501千円	(説明書 P61) 市民が安心して暮らせる犯罪や暴力のない安全で住みよいまちづくりを進める。 <主な経費> ・防犯カメラ設置業務委託料 476千円 ・京都犯罪被害者支援センター年会費 30千円 ・亀岡防犯協会補助金 300千円 ・亀岡市暴力追放協議会補助金 50千円 ・犯罪被害者等見舞金 300千円

2款 総務費

科 目	主要な施策	施 策 の 内 容
14目 公有地 拡大及 び土地 利用調 整費	○市有地等利 活用政策推 進事業経費 (政策推進課) 120,500千円 【財源内訳】 ・繰越金 120,000千円 ・諸収入 500千円	(説明書 P63) 南つつじヶ丘地区の住宅開発に伴い、帰属を受けた公共用地の利活用について、地元自治会等との協議に基づき、幼稚園用地において、地域のコミュニティセンターを建設する。 <主な経費> ・南つつじヶ丘コミュニティセンター建築工事 116,270千円 ・南つつじヶ丘コミュニティセンター建築工事 施工監理業務委託 2,457千円
	○大規模スポ ーツ施設関 連事業経費 (政策推進課) 93,680千円 【財源内訳】 ・府支出金 46,600千円 ・一般財源 47,080千円	(説明書 P63) 亀岡のあらたな顔となる大規模スポーツ施設(京都府の専用球技場)の整備を進めるにあたり、計画地内に存する公共用地や民有地の境界を明示、確定すると共に、敷地全体の測量等必要な調査を実施する。 <主な経費> ・用地測量業務委託 88,361千円(府概ね1/2)
7項 環境交通対 策費	○交通安全対 策経費 (安全安心ま ちづくり課) 926千円 【財源内訳】 ・一般財源 926千円	(説明書 P77) 市民の交通安全意識の高揚と交通事故防止を図るため、交通安全対策会議、亀岡市交通安全対策協議会の開催や、交通安全功労者表彰式、飲酒運転根絶の推進、自転車の安全利用の推進等街頭啓発・広報活動を実施する。
3目 交通安全 対策費	○バス交通関 連経費 (政策推進課) 118,661千円 【財源内訳】 ・府支出金 48,349千円 ・諸収入 8,400千円 ・一般財源 61,912千円	(説明書 P77) 亀岡駅を中心とする市街地を運行するコミュニティバス、バス事業者が廃止した路線の代替措置として市周辺地域を運行するふるさとバス、また、複数市町にまたがりバス事業者が運行する地方バス。これらのバス交通を維持するとともに、市民にとってより一層効果的で、利便性が高い公共交通となるよう整備、検討する経費。 <主な経費> ・コミュニティバス運行业務委託 14,793千円(府概ね1/2) ・地域公共交通調査事業協議会負担金 8,400千円 ・ふるさとバス運行補助金 88,372千円(府1/2) ・地方バス路線運行維持費補助金 5,037千円 ・バスロケーションシステム整備費補助金 1,629千円

8 款 土木費

科 目	主要な施策	施 策 の 内 容
4 項 都市計画費 1 目 都市計画 総務費	<p>○都市計画事務経費 (政策推進課) 135 千円 【財源内訳】 ・一般財源 135 千円</p> <p>○J R 亀岡駅自由通路等施設管理経費 (政策推進課) 12,425 千円 【財源内訳】 ・使用料及び手数料他 2,440 千円 ・一般財源 9,985 千円</p> <p>○J R 山陰本線関連経費 (政策推進課) 165 千円 【財源内訳】 ・一般財源 165 千円</p> <p>○J R 千代川駅東側広場等整備事業費 (政策推進課) 208,000 千円 【財源内訳】 ・市債 187,200 千円 ・一般財源 20,800 千円</p>	<p>(説明書 P153) 公共交通利用促進等、交通政策全般に係る事務的経費。</p> <p>(説明書 P155) J R 亀岡駅自由通路等施設『のどかめロード』の維持、管理に要する経費。 <主な経費> ・業務委託(清掃及び昇降機等保守点検) 8,606 千円</p> <p>(説明書 P155) 山陰本線のさらなる利便性向上のための活動を行う経費。 <主な経費> ・山陰本線京都中部複線化促進協議会負担金 131 千円</p> <p>(説明書 P155) 亀岡市内 J R 4 駅の均衡ある整備を図るため、残る J R 千代川駅舎及び周辺地域の整備を推進する。駅舎のバリアフリー化に先駆け、特に川東方面からの送迎車両が多い駅東側の広場整備を実施する。 <主な経費> ・J R 千代川駅東側広場調査測量設計業務委託 14,260 千円 ・J R 千代川駅東側広場土地境界確定業務 3,090 千円 ・J R 千代川駅東側広場用地買収 190,650 千円</p>

平成 2 5 年 度

一般会計当初予算（案）施策の概要

～ 資料編 ～

【政策推進室】

～セーフコミュニティかめおか～

平成25年度 セーフコミュニティ(SC)推進事業経費



政策推進室安全安心まちづくり課

現状・課題

- より多くの市民・地域がSCの推進に参画する仕掛けが必要
- 外傷データの記録分析と、その削減に向けた地域における具体的活動の展開が必要
- 取り組みによる効果をあらゆる視点から測定し、示していくことが必要
- 幼少期から安全・安心への意識を育てていくことが必要
- SCの理念や取り組みを、もっと市民に知ってもらうことが必要

解決策

①安全・安心を推進するための組織の継続的な運営を行う	②安全・安心を守る地域活動の展開を図る	③外傷状況の継続的記録と、原因分析を行う	④取り組みや活動による効果の測定と改善を行う	⑤こどもを中心に保護者や地域住民を巻き込んだ活動を行う	⑥SCネットワークの推進とSCかめおかの普及啓発を行う
----------------------------	---------------------	----------------------	------------------------	-----------------------------	-----------------------------

具体的施策

①推進協議会、対策委員会等を継続的に運営する	②安全・安心のプログラム構築と地域における活動を推進する	③現行サーベイランスに加え、地域ごとの外傷データの収集分析を行う	④予防プログラムの短中長期的な効果を測定するとともに、プログラム改善を行う	⑤ISSセーフスクールの実現に向け、調整を図る、	⑥市民安全安心フォーラムを開催する
------------------------	------------------------------	----------------------------------	---------------------------------------	--------------------------	-------------------

平成25年度における具体的取り組み①

[予算案:6,034,000円]

① 重点課題に対するタスクフォース〔7対策委員会〕等推進組織の運営

予算案:890,000円

●外傷データの分析結果から、SC活動として優先的に取り組む課題として“7つの重点課題”を特定、その予防対策を市民との協働で継続的に実施していくためのタスクフォースを継続的に運営し、プログラムを実施する。

①乳幼児の安全対策委員会、②高齢者の安全対策委員会、③交通安全対策委員会、

④学校の安全対策委員会、⑤余暇・スポーツの安全対策委員会、⑥自殺対策委員会、⑦防犯対策委員会

●SC推進協議会・SCサーベイランス委員会の運営、SCモデル地区への支援継続 ほか

② 安全・安心のプログラムと地域における活動の推進

予算案:各所管計上

●重点課題解決のためのプログラム〔P〕を推進、市内全域におけるSC活動を展開する。

・高齢者運動介入P、SC高齢者見守り支援P、精神保健福祉支援P、自転車安全利用教育P、命のカプセルP
防犯カメラ設置促進P、多重債務解決支援P、府民協働防犯ステーション設置促進P、こころの体温計P 他

③④ 外傷サーベイランスと効果の測定

予算案:1,960,000円

●既存データである救急搬送データや人口動態統計、独自収集データである公立保育所・家庭での乳幼児のけがや市立病院高齢者骨折データ等の継続的収集分析に加え、地域ごと(自治会)の外傷データを把握し、優先的に取り組むべき課題を特定し、対策に繋げる。

・救急搬送データ収集分析(継続)、公立保育所・家庭における乳幼児のけが等(継続)

・公立幼稚園サーベイランス(新規)、地域サーベイランス(新規)

●予防プログラムの短期・中期・長期的評価指標に基づく効果の測定を行い、随時市民公開するとともに、サーベイランス委員会による内部評価や日本SC推進機構による外部評価を行い、プログラムの検証を行う。

⑤ セーフスクールの導入〔ISS〕

予算案:185,000円

●学校、保育園等におけるSC版であるISSの導入を検討し、子どもを中心に保護者や地域住民等を巻き込んだ安全・安心な学校・保育所づくりを進めていく。

⑥ 市民安全・安心フォーラム in かめおかの開催

予算案:1,000,000円

●SC再認証を機に、より多くの市民・地域が安全・安心について考え、取り組みの拡充と質の向上に繋げていくことを目的として、「市民安全・安心フォーラム in かめおか」を開催する。

その他〔普及啓発・SCネットワーク推進・事務費等〕

予算案:1,999,000円

●SC普及啓発、SCネットワーク推進、亀岡市版ギャップイヤー、市政アドバイザー任用、旅費、事務費等

平成25年度における具体的取り組み② [予算案詳細:6,034,000円]

① 重点課題に対するタスクフォース〔7対策委員会〕等推進組織の運営

予算案:890,000円

- 報償費515,000円・・・SC推進協議会、サーベイランス委員会、各対策委員会報償
- 需用費(食糧費)49,000円・・・SC推進協議会、サーベイランス委員会、各対策委員会賄
- 需用費(消耗品費)30,000円・・・SCモデル地区活動資料
- 委託料260,000円・・・SC7重点対策委員会活動経費、高齢者外傷予防研究会活動経費
- 使用料及び賃借料36,000円・・・SC推進協議会会場使用料

② 安全・安心のプログラムと地域における活動の推進

予算案:各所管計上

③④ 外傷サーベイランスと効果の測定

予算案:1,960,000円

- 需用費(印刷製本費)200,000円・・・地域サーベイランス調査票
- 役務費(通信運搬費)100,000円・・・地域サーベイランス調査返信郵送料
- 委託料1,660,000円・・・公立保育所サーベイランス業務委託(500,000円)、消防救急搬送データ分析委託(500,000円)、SCプログラム評価測定(300,000円)、日本SC推進機構プログラム評価委託(360,000円)

⑤ セーフスクールの導入〔ISS〕

予算案:185,000円

- 旅費135,000円・・・国内セーフスクール視察
- 需用費(消耗品費)50,000円・・・事務消耗品等

⑥ 市民安全・安心フォーラム in かめおかの開催

予算案:1,000,000円

- 負担金補助及び交付金1,000,000円・・・開催に係る実行委員会への負担金

その他〔普及啓発・SCネットワーク推進・事務費等〕

予算案:1,999,000円

- 報酬420,000円・・・SCアドバイザー報酬
- 報償費72,000円・・・亀岡版ギャップイヤー(インターンシップ)、国内SC認証取得団体への記念品
- 旅費580,000円・・・国内外SC認証式典への出席発表、SC自治体ネットワーク会議出席、関係会議出席
- 需用費(消耗品費)580,000円・・・SC啓発用品、事務用消耗品
- 需用費(印刷製本費)105,000円・・・SC視察対応等冊子制作
- 役務費46,000円(通信運搬費40,000円・手数料6,000円)・・・電話、郵送料、振込手数料
- 使用料及び賃借料30,000円・・・タクシー代
- 負担金補助及び交付金166,000円・・・国内外SC認証式典参加負担金